【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成17年3月17日(2005.3.17)

【公開番号】特開2003-299690(P2003-299690A)
【公開日】平成15年10月21日(2003.10.21)
【出願番号】特願2002-110551(P2002-110551)
【国際特許分類第７版】
　Ａ６１Ｆ　13/15
　Ａ６１Ｆ　 5/44
　Ａ６１Ｆ　13/49
　Ａ６１Ｆ　13/514
　Ａ６１Ｆ　13/515
【ＦＩ】
　Ａ６１Ｆ　13/18　　３２０
　Ａ６１Ｆ　 5/44　　Ｈ
　Ａ６１Ｆ　13/18　　３３２
　Ａ４１Ｂ　13/02　　Ｆ

【手続補正書】
【提出日】平成16年4月21日(2004.4.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
前述の通り、防漏シート６は熱可塑性樹脂のフィルムや不織布から構成されている。熱可塑性樹脂としては従来公知のものを特に制限無く用いることができる。特に、熱可塑性樹脂として高密度ポリエチレン（ＨＤＰＥ）を１０～３５重量％、特に１５～２５重量％含有する熱可塑性樹脂組成物を用いると、ナプキン１の製造工程において防漏シート６が伸張しにくくなり、その搬送性が高まる点から好ましい。また、適度な剛性（コシ）があるので加工性も良好になる。ＨＤＰＥの量が３５重量％超になると、剛性が高くなり過ぎてナプキン１のフィット性が低下したり、或いはいわゆるシャリ感が生じやすくなってしまう。ＨＤＰＥを含む熱可塑性樹脂組成物を用いる場合には、その他の樹脂成分として低密度ポリエチレン（ＬＤＰＥ）や線状低密度ポリエチレン（ＬＬＤＰＥ）を用いることが好ましい。つまり、ＨＤＰＥを含む熱可塑性樹脂組成物を用いる場合には、該熱可塑性樹脂組成物はポリエチレン系樹脂組成物であることが好ましい。